

馬車道通信

情報スポットから 助成金の活用 No.13

子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在募集中の助成団体を掲載しました。ぜひ、活用し、活動を充実させていきましょう。(この他にも情報があります。詳しくは窓口でお尋ね下さい。)

助成制度名公募	助成対象	助成金額	募集期間
子どもゆめ基金 独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動や読書活動をしている団体	上限額 各活動規模による	二次募集 2016/5/9~6/14 (郵送) 2016/5/9~6/21 (電子申請)
子供たちの環境学習活動 に対する助成事業 公益財団法人 高原環境財団	緑化や自然体験などの環境学習活動の実践を通じて、子供たちの意識向上を図る活動をしている団体	上限額 50万円 (1件あたり)	~2016/5/20
平成28年度 助成金 公益財団法人 エックススポーツ振興財団	青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している団体	上限額 100万円 (1件あたり)	後期 ~2016/6/30

新しいスタッフです!

横浜生まれ、横浜育ち、職場も横浜から出たことがない、生粋のはまっこの伊藤豊(いとうゆたか)と申します。4月1日より、6年ぶりに育成センターに帰ってまいりました。最近、「よこはまウォーキングポイント」にはまって、会社帰りにいろんなコースで帰宅して、歩数ポイントを稼いでいます。6年ぶりということで、いろんな事が変わっていて浦島太郎な気分ですが、1日でも早く利用者の皆様のお役に立てるよう、日々頑張ります。

4月1日から育成センターで勤務しています、新採用の五十嵐 顕二(いがらしあきつぐ)です。3月まで大学で声楽をはじめとした舞台芸術を勉強していましたが、4月からは新社会人、それを機に一人暮らしをはじめ…と生活が一変しました。大学時代から何度か足を運んでいた横浜ですが、こんなに中心地で働くことになるとは…! 少しずつではありますが、利用者のみなさまのお力になれるよう、受付カウンターのうしろで頑張っています! どうぞよろしくお願いたします。



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『日本将棋連盟神奈川県支部連合会』

(第1・2研修室、ミーティング、和室利用)

アマチュアの将棋ファンによる将棋大会です。全国代表を目指す人の戦いの場と、棋力向上を目指す青少年も多数います。

(加山さん 談)

【イベント】

5月8日(日) 倉敷こども将戦の神奈川県予選(小学生のみ)

青少年のみなさんへステキなメッセージをいただきました!

将棋は

①集中力②思考力③忍耐力
等が身に付き、

仲間とのコミュニケーションを取り

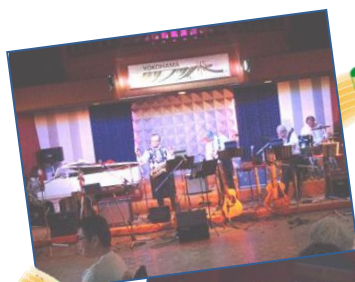
長年に亘り趣味として

続けてほしいと思います。



『K&Mの発表会 with ウェーブ』

3月6日(日)、K&Mの発表会を元町にあるクラシックなダンスホールで開催しました。およそ120人の人が集まり、ウェーブの生バンドをバックに踊りました。曲は、ジャズのスタンダードの「アマポーラ」「ラ・クンパルシータ」「奥様お手をどうぞ」などです。発表会は年に1回。日頃の練習が発揮できてよい会になりました。残念なのは若い人が少ないことです。もし、興味のある方はぜひ、ご参加ください。(鈴木さん・楠原さん 談)



馬車道 コラム Vol.41 「セルジオと言えば…」

「セルジオ」と言えば、若い方はセルジオ・越後氏を思い出されるかと思うが、<ジャズおやじ>はブラジルの偉大な音楽家、セルジオ・メンデス(Sergio Mendes)を思い起こす。

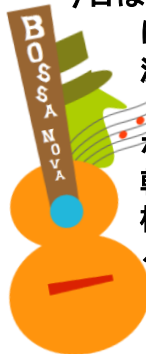
セルジオが率いる「セルジオ・メンデスとブラジル'66」は「マシュ・ケ・ナダ」など数々の曲をヒットさせ、ボサノバブームを世界にもたらしてくれたバンドである。

セルジオ・メンデスは、ブラジルの音楽だけでなく、ビートルズの曲をボサノバやサンバなどラテンのリズムにアレンジして演奏しているアルバムが多い。「フール・オン・ザ・ヒル」「ノルウェーの森」「デイ・トリパー」といった曲をカバーしているが、私は「フール・オン・ザ・ヒル(Fool On The Hill)」が大のお気に入りである。3拍子で始まり、途中で4拍子に変わるアレンジとラニー・ホール(Lani Hall)のニュアンスのある歌い方が特に好きで、旅に出かけたりする時や気持ちを高ぶらせたい時にこの曲を聴くことが多い。しかし、なぜかビートルズが演奏するオリジナルは聴いたことがない。私にとっての「フール・オン・ザ・ヒル」の原曲は、ビートルズではなく、セルジオ・メンデスなのである。

しかし、逆に捉えてみると、セルジオ・メンデスのお陰でビートルズの楽曲に出会ったとも言える。

同じことがデューク・エリントンが作曲した「キャラバン」という曲でも言える。「キャラバン」というジャズの曲を初めて聞いたのは、今も元気に活躍している、テケテケ・サウンドの大御所「ベンチャーズ」の演奏である。20歳を超えるまでは、「キャラバン」は彼らのオリジナル曲であると信じていた。恐らくベンチャーズのファンの方にとって「キャラバン」はジャズのキャラバンではなく、ベンチャーズのキャラバンがオリジナルなのではないだろうか？

今日は、これから関内にあるライブのお店「B」にお邪魔する。ここは、美味しい食事と一流のジャズ演奏家による生演奏を同時に楽しむことができるお店である。デート・スポットとしてもお勧めしたい。ボサノバの乾いた音色(ねいろ)に酔いしれる彼女の横顔を見ながら、バーボンのグラスを傾けるのもひとつの楽しみ方だと思う。



<ジャズおやじ>

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

